

寛政5年(1793)江戸麹町田原藩(譜代)上屋敷に生まれる。

○三河田原藩士・家老(現在の愛知県東部・渥美半島)

○画家 鷹見 泉石像 (たかみ せんせき) 国宝

○三河田原藩のリーダーとして藩政改革に尽力

- ・幕命の新田干拓計画中止を上申、助郷免除解決
- ・義倉報民倉設置(食料備蓄庫) 田原地方が大飢饉(天明の大飢饉)になる。  
一人の餓死者も出ず

○海防・開国論者として

- ・蘭学・兵学研究に取り組む。高野長英、江川太郎左衛門らと交遊を深める。
- ・幕府の外国船打払令や鎖国に危険を主張し開国、交易を行うよう強調
- ・江戸湾測量で伊豆の代官江川担庵に、人材器具を援助する。

○蕃社の獄

- ・天保10年(1839)5月14日、蕃社の獄により北町奉行所揚屋入りとなる。12月18日、田原蟄居の申渡しを受ける。
- ・幕府の儒学信奉者から目の敵、蘭学者は目付鳥居耀蔵により5月捕らえられた。無人島渡航計画、崋山が書いた「慎機論」は幕政批判の重罪となった。慎機論は幕府の対外政策への不満を書いたものである。

天保11年(1840)2月田原池の原屋敷に蟄居

天保12年(1841)10月11日自刃する

○地方を巡る旅

天保2年(1831)9月から門高木梧庵を伴い厚木を旅し「游相日記」を、10月、桐生、足利方面を旅し「毛武游記」を書く

※游相日記では、各地域での文化人・知識人と交遊、行政状況などを聞き取っている内容が記されている。

大山街道厚木宿その1、旧上町・天王町概略図



大山街道厚木宿その2 仲町・下町概略図



大山街道厚木宿その3 下町概略図



大山街道厚木宿その4 下町～岡田概略図

